

つとむ通信

ともに変えよう富津の未来
ともに創ろう富津の未来

千葉県議会議員　渡辺つとむ事務所
千葉県富津市千種新田375－5
℡0439－65－0526　FAX0439－65－0683
e-mail　tsutomu364@rondo.plala.or.jp

ホームページ

政策討議資料

No.39　令和8年　冬　活動報告

相次ぐ千葉県内での大雨で被害を受けた皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。千葉県議会議員　渡辺つとむは、令和８年夏に到来した千葉豪雨、それに続く台風 25 号等の災害に対して被害を受けた地域の皆様に寄り添う活動を心掛け行動してまいりました。また県土整備常任委員会委員長として、課題とこれからの展望について千葉県に意見や提案をさせていただきました。今回はその内容を中心にご報告させていただきます。どうか「議員は選挙の時ばかりお願いに来る。」とおっしゃらないでください。　そしてぜひ**皆さんのご意見をお聞かせください。**

熊谷俊人千葉県知事との対談



渡辺　この度は、お時間をいただきありがとうございます。知事にただいま取り組んでいる課題についてお話を伺わせていただきます。

➢　防災について

渡辺　今夏の千葉豪雨や台風25号等、度重なる千葉県全域への被害について、日々対応いただいている県幹部ならびに職員の皆様には大いに感謝を申し上げます。　その中で知事が一番心を砕いていることは何ですか？

知事　被害の全容を早期に把握し、最大戦力を投入できる体制を構築することです。例えば内房線に関しては、当初 JR 側が「復旧まで少なくとも３か月」と示していましたが、県として内房線の復旧を最優先課題と位置づけ、技術力のある日建連（大成建設・大林組）と連携して、県道と崖地（民有地含む）の土砂撤去を迅速に進め、

JR 側の作業が円滑に進むよう支援し、11 月 9 日の運転再開につなげました。もちろん、JR 東の関係者が尽力されたことは言うまでもありません。もう一つは前例主義に陥らず、被災者目線で柔軟に支援を届けることです。今回は国の支援対象とならない半壊世帯や農水産事業者への県独自支援策を発動するなど、今回の災害の特徴を踏まえた制度としました。

渡辺　防災対策については知事もかねてより最優先事項として取り組んできました。それでもなお今回のような災害が発生してしまったことに、改めて自然の驚異を痛感させられました。富津市では幸い人的被害はありませんでしたが、農業施設や河川の護岸崩落など多大な影響をこうむりました。従来型の危機管理体制だけではなく、内水氾濫など都市型の災害にも対応しなければいけない事態についてどのようにお考えでしょうか？



市内で防災備蓄の視察をする知事と高橋市長

知事　渡辺県議のご指摘のとおり、今回の災害を踏まえた対策が必要です。県では「令和 8 年千葉連続風水害｜復旧・復興と災害に強い千葉県づくり」基本方針を示しました。連続する2つの災害の教訓を未来の千葉県へ活かすため、3 つの課題**「立ち直る」「つなぐ」「強くする」**に対応し、緊急的対応と重点方針に基づき、県として総合的な対策を進めていきます。

➢　商工業対策について

渡辺　知事は千葉県経済の確立と成田空港を核とした産業拠点づくりを掲げています。これは県北部の経済対策だけではなく、道路網やインフラの整備も含めて、千葉県全体の国際的産業競争力づくりだと理解しています。ひいてはそれが私の地元である県南部の産業の強化拡大につながると考えていますがそのことについてどうお考えですか？

知事　おっしゃる通り、成田空港を核とした国際産業拠点の形成は空港周辺に限ったものではありません。例えば君津市で放射性医薬品の製造・開発拠点（投資規模：100 億円）の誘致に成功しましたが、進出の背景に成田空港と羽田空港の両方にアクセスが良いことが要因の一つでした。

また、富津市に誘致した陸上養殖の大規模施設は投資規模が 200 億円を超え、政府が力を入れている分野でもあることから、農水大臣も視察されました。

千葉県は東京都心や両空港に近い立地優位性を持ち、今後も積極的に投資と雇用を呼び込んでいきます。

渡辺　県南部にも、かずさDNA研究所や京葉臨海コンビナートが立地し、国際競争力においてもポテンシャルのある企業群があります。圏央道の県内区間全線開通やアクアラインの渋滞緩和への社会実験等、知事は積極的に半島性の解消に向けてご尽力いただいています。さらにその施策を進めるお考えはおありでしょうか？

知事　千葉県の半島性を克服するためにも、投資や雇用を呼び込むためにも基幹的なネットワーク形成が重要です。今年度はいよいよ圏央道の全線が開通しますが、今後も富津館山道路の早期４車線化など、引き続き国に強力に働きかけるとともに、県道のバイパス整備などを進めていきます。

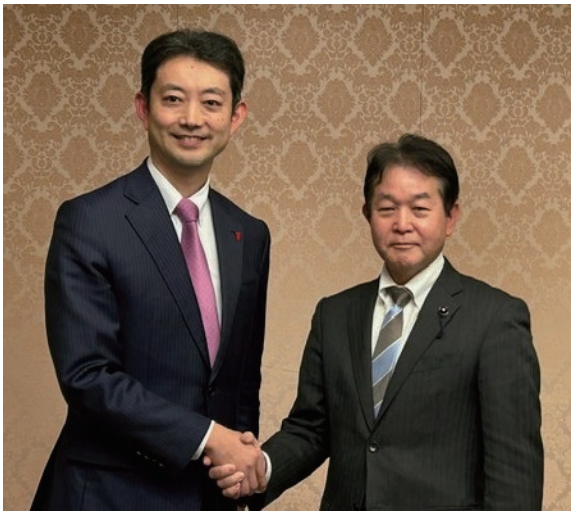


➢　人口減少対策

渡辺　私の住む富津市をはじめとする県南部は一部を除き、若者が地域を離れていく人口減少が大きな課題です。私も市議会議員時代から長くこの課題に取り組んでまいりました。
都市部の少子化対策と、地方の少子化対策は同じではいけない。地域に適した人口減少対策があるのだと主張しています。「若者がいかに地方で働き、生き生きと生活をしていくか。」の課題を解決したいと考えています。知事にもぜひご理解とご協力をお願いしたいと考えるがいかがですか？

知事　おっしゃる通りです。地方ならではの豊かなライフスタイルに魅力を感じる若者は多く、そのためにも働く場所、アクセスしやすい環境を用意することが重要です。
県では国に対し、「人口の奪い合いではなく、真に出生率が上がる政策を」と提言しており、その中で、例えば配偶者の通勤時間が10分増加すると第2子が生まれる確率が4%減るという調査や、家賃の高さが出生数にマイナスの影響があることを示す統計などがあり、広い住環境と職住近接のケースが多い地方で暮らす意義はもっと注目されるべきと考えています。実際、千葉県においても北西部と比べ、東部・南部の方が第３子以降の出生率は高い状況にあります。

渡辺　ありがとうございました。今後も千葉県発展のために、共に力を尽くしてまいりましょう！



➢　つとむの視点

未だ経験した事の無いような豪雨災害の対策について知事をはじめとして地域の防災政策に取り組む私達は、今までの発想を根本から考え直さなければならないと痛感しています。そんな共通の意識の中での知事との対談でしたが、早速、県では都市型災害への対策検討のための学識者中心の検討会を立ち上げました。私達県議会では個々の災害対策や被災者支援の

在り方などについて検討を始めているところです。住民の不安を取り除く効果的な対策（例えば平時と非常時の境を無くす理念の啓発と普及など）に取り組んでまいります。

決算審査特別委員会　質疑報告

去る9月18日より11月27日までの期間に開催された決算審査特別委員会の内容の一部を報告します。

➢　ため池の保全について

問　農地の水源の確保を目的とするため池は洪水の恐れのある際には、貯水機能を確保できる防災の観点からも重要だ。県ではハザードマップ作成のソフト対策と並んで、老朽化により劣化した「ため池」を改修するハード対策などに取り組んで来た。令和7年度は、県内9地区で堤体や洪水吐等の改修工事を実施してきたと聞いてるが、今後はどのような方針で事業を進めて行くのか。

農林水産部担当課長　災害により決壊した場合に重大な被害が想定される383か所のため池において、令和6年度までに劣化状況評価を実施した。これにより対策工事が必要と判断された、ため池について決壊した場合に住民へ及ぼす影響度や緊急性地元の合意形成状況を踏まえ、計画的に防災工事を実施することとしている。併せて管理者や周辺住民に対して、引き続きハザードマップの周知や低水位管理の呼びかけを行っていく。

要望　低水位管理が重要だ。今後とも適切な水位でため池が有効に利用できるように管理改修を進めていただきたい。

➢　水産総合研究センターについて

問　近年東京湾では海水温の上昇に加え、栄養塩の不足による養殖ノリの色落ちなどにより漁業生産量が大きく減少しており、漁業経営は大変厳しい状況となっている。こうした状況に対応し県では、水産総合研究センターの機能強化に向けた施設の再編整備を進めている。そこで伺う。令和7年度決算において水産総合研究センターの機能強化に係る東京湾漁業研究所の整備の状況はどうか。

農林水産担当課長　水産総合研究センター東京湾漁業研究所については、スマート技術を活用した漁場環境情報の提供による創業支援や、遺伝子情報を活用したノリの新品種の開発など、東京湾漁業研究の拠点として先端技術に対応できるよう施設整備を進めているところ。令和7年度は、5 億 1950 万円の契約により、ノリの新品種開発に必要な培養室や無菌室、二枚貝の隔離実験室などを配置した新たな実験棟の建築工事に着手したところ。今年度内に完成する予定

渡辺つとむプロフィール
昭和36年4月25日富津市千種新田生れ
県立木更津高校卒
立教大学経済学部卒（弁論部出身）
工学院大学専門学校建築科研究科卒
藤和不動産(株)財務部に勤務後
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役



元富津市議会議長（令和2年～令和3年）
富津市バドミントン協会会長
富津市国際交流協会副会長
令和5年4月　千葉県議会議員当選
千葉県議会　県土整備常任委員会委員長
千葉自民党政調会　副会長